



特集

地域のかでリサイクル 再生資源回収運動



今回、取材させていただいたのは「岩木小学校 父母と教師の会」(以下「岩木小」)の皆さん。岩木小では30年以上前から再生資源回収運動に取り組んでいるそうです。

START
スタート

01. 方法と場所を決める

資源物を集める方法と場所を決めます。岩木小では、学校のバックヤードに回収場所を設置しているほか、回収日を設けて校庭で回収しています。



売払金と報償金

再生資源回収運動では、再生資源回収業者からの売払金*のほか、市で交付する報償金が団体に支払われます。

報償金... 1kgあたり **4円**

*売払金は品目・持ち込みの有無によって単価が変わります。詳しくは市ホームページをご覧ください。

令和4年度実績	
・登録団体数	171団体
・資源回収量	1,102t
・業者売払額	469万円
・市報償金額	441万円

ごみの資源化に貢献して、団体の活動資金にも役立てられるなんて、いいこといっぱい♪



02. 回収品目を決める

団体の特性や集める場所、方法などを考慮して回収品目を決めます。岩木小では、9品目(新聞紙、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パック、アルミ缶、ビールプラスチック箱、ペットボトル、一升びん、ビールびん)を回収しています。



03. 回収業者の選定・打ち合わせ

品目、日時、受け渡し方法など回収手順を決めます。また、売払金の支払方法を決めます。岩木小では年3回の回収日を設けて回収業者に引き渡ししています。

回収業者との取り決めは書面で手元に残しておこう!



GOAL
ゴール

06. 回収成果をお知らせ

回収運動に取り組んだ皆さんに、回覧板などで取り組みの成果を周知します。岩木小では、PTAの総会時に回収量や収益についてお知らせしています。



実施したら市への申請も忘れずに!



回収が終わったらきれいに掃除♪



05. 回収・引き渡し

回収場所は設置場所や方法を工夫し、はっきりわかるようにします。また、回収業者に引き渡す際は、業者任せにしないで立ち会います。



岩木小では各町会の保護者代表などが地域から集めた資源物を回収日に持ち込んで回収しています。ドライブスルー方式でドライバーは車から降りずに、品目ごとに担当者が積み下ろし、次の品目の回収場所へと誘導します。これにより回収がスムーズになり、時短と会場の安全性の確保を実現しています。

準備はOK!



みんなに知らせなきゃ!



04. 会員などへの周知

会報、回覧板、掲示板などを使って日時や場所を周知します。岩木小では町会の回覧板でチラシを回覧し周知しているほか、回収日前日に地区の防災無線でお知らせしています。

うわ〜たくさん集まったまる♪



回収品目

再生資源回収運動ではこの中から回収品目を選んで実施します。

新聞紙	雑誌・雑がみ	ダンボール・厚紙	紙パック	アルミ缶	ペットボトル
布類(衣類、布)	ビールプラスチック箱	一升びん	ビールびん	サイダーびん	

1品目だけでもOKなんだって!



Interview

朝の2時間、年に3日間の活動で子どもたちに還元できる一。続けることに意義がある

再生資源回収運動の収益は、部活動への拠出や各スポーツ少年団など課外活動への助成などに使われています。回収日当日は先生やPTAの役員など30~40人ほどで活動していますが、役員は毎年入れ替わりが多いので、みんなで声を掛け合って協力するという気持ちを持って活動することが一番大事なのかなと感じています。大型トラック1台がパンパンになるくらいの回収量があっ

た時代もありました。今は以前に比べて回収量は3分の1ぐらいい減っています。それでも、保護者だけでなく、おじいちゃん、おばあちゃん、在校生のいない家庭など多くの地域の方が岩木小のために各家庭で資源物を貯めて参加してくれているという感じでありたいです。やめてもいいという声もありました。それでも、朝の2時間、年に3日間だけの活動

でこれだけの資源物を集めることができ、それを子どもたちに還元できるというのは、やることに意義があると思っています。続けていきたいですね。



北城 宗徳さん
岩木小学校 父母と教師の会 総務部長

Interview